



ゆっくり出発、早めの帰宅 紅葉のスケッチに大満足

南支部 佐藤光保

紅葉や遠方の雄大な景色を眺め、筆を走らせました。

今回は企画の段階から、目的地がメジャーな観光地でもあり、スケッチするには少しもの足らないかとの危惧もあったのですが、終わってみて時間的にゆとりをもって行動ができ、ゆっくり出発、早めの帰宅と体力的にも楽でした。

皆様のご協力ありがとうございました。



仰ぎ見る紅葉に満足！

文化祭は交流の場



事務局 本多清子

受付に座っていると、いろいろな人にお会いする。「ヤーしばらく。」今年も会えた旧知の友。話のはじめは情報交換。その後「あなたの絵はどこ？」みんなニコニコ。今年はどんな作品に出会うのだろうと、絵画、写真、書、花、編み物、子供達の力作等を見る。文化祭は作品の発表の場でもあるけれど、人との交流の場でもあります。いろいろなワクワクが楽しみで、私は進んで、受付当番を引き受けます。

平成26年度、東海村文化祭は11月1日2日3日、総合体育館で行われました。初日は秋雨。2日、3日は穏やかな秋晴れとなり一気に来場者も増え、場内は熱気を感じるほど盛況になりました。会員の作品は58点、教室一般の作品は11点、彫刻は6点、工芸1点。人物画、風景画、それぞれ力作が揃いました。

第5回「どごだが わがっけ展」は最終回。村内のどこかをスケッチしての作品で、作者の苦心がうかがえて興味深いものでした。

また、展示の中央に故、佐藤康雄元理事長の遺作が展示されていました。遠くから見てもすぐわかる先生の独特的爽やかな色づかい、水辺の風景画は、その絵のごとく穏やかなお人柄が偲ばれて胸が熱くなりました。美術連盟にご尽力された佐藤先生の作品には毎年、この場でお会いしたいものだと心の中で思いました。3日間の来場者数は6,419人、盛況の中、今年の文化祭は終了しました。



アレッ、これはどごだっけ？



仲支部

大道 敏彦さんに Tea タイム

- 絵を描くようになったのは、いつごろですか、何かきっかけがあったのでしょうか。
- ▲ 学生時代に同じ下宿に油絵を描く友人がいました。彼の指導で、アルバイトで得たお金で、油絵の道具を買ったことがきっかけです。
- いつからアクリル画に取り組むようになりましたか。また、その良さを教えてください。
- ▲ 東海村では職場のクラブ、また大洗に移った時は町のサークルで油絵を描いていました。退職前の10年位は休んでいましたが、退職を機に絵を描こうと思い、たまたま照沼恵子さんに伝えますと、村松コミセンで月2回程度の作画会に誘われました。この集まりではアクリルが使われており、以来、アクリル画のみ描いています。アクリル画は絵の具を水でとくため、油絵より乾燥がはるかに早い等に利点を感じています。
- 絵を描き続けて良かったと思うことは、どんなことですか。
- ▲ 幼少時から絵を描くのが好きでした。それが継続しているのが幸せです。

- これからの抱負や目標を教えてください。
- ▲ 現在の趣味をなるべく長く続けられることが抱負です。
- 絵のほかに楽しんでることをお聞かせください。
- ▲ 男性コーラスではテノールを歌っています。それから週に2回、ソフトテニスを楽しんでいます。子供のころに帰ったつもりで楽しんでいます。



文化祭出品作品の前で

東海美術連盟創立40周年記念事業 実行委員会を立ち上げる

東海美術連盟副理事長 棚井哲雄

平成27年は、東海美術連盟創立40周年を迎えます。この節目の年に当たりまして、なんらかの記念事業を行うということを、今年春の総会において決定しておりました。このことを承けて、実行委員会を立ち上げ、10月23日、第1回目の打ち合わせを行いました。その結果を報告します。

まず、実行委員のメンバーは、美術連盟事務局員(高橋理事長をはじめとする9名)と各支部の理事5名の合計14名となります。以下、具体的な内容について説明します。

1. 予算について

30周年記念の時は、会員から特別に会費を徴収しましたが、40周年展の場合は予算内で実施することを前提に計画する。平成26年度末の積立金が30万円ですので、来年度には10万円増えて、40万円となる。従って、あまり盛大にはできませんが、その予算の中で行う。

2. 記念展実施時期について

来年度の村の芸術祭の折りに、東海ステーションギャラリーにおいて40周年記念展を前面に押し出して行う。

3. 出品作品について

新作または、本人の過去の自信作とする。

(A・B室使用)

4. 記念誌について

記念展のほかに、記念誌を発行し、記録に残す。

5. 記念パーティーについて

会費制で実施する。村長をはじめ教育長、文化協会長の来賓の方々をお招きする。

以上がこれまでに協議した方向性です。各項目の具体的な内容、例えば、展覧会の日取りや記念誌の内容、記念パーティーの会費や場所などにつきましては、今後の実行委員会において煮詰めていきたいと思います。そして今年度末の総会までには会員の皆さんにお知らせします。また、会員の皆さんのご意見や提案がありましたら、委員までご連絡いただければ幸いです。会員の皆さんの熱い思いと行動力でこの事業を成功させましょう。

第2回実行委員会を11月19日に開催し、上記の内容をさらに煮詰める。

～公募展だより～

入賞・入選おめで

第50回日立市展

(9.6~14日)

日立シビックセンター
マーブルホール



日立港ロータリークラブ会長賞
松尾 秀子「希望への旅立ち」



本多 清子「ZAKURO」



豊島 和久「Tさん」

ひたちなか市芸術祭

(9.30~10.5日)

ひたちなか市
文化センター

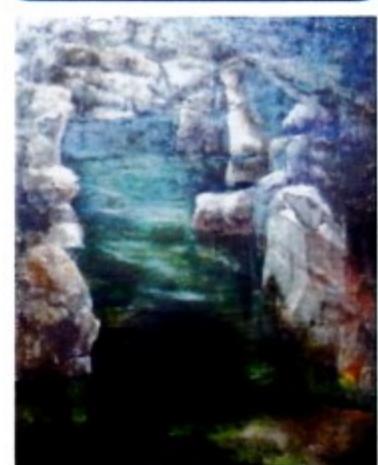


市長特別賞（委嘱出品賞）
「海色のイヤリング」
佐藤 芙美枝



奨励賞 勝田ロータリークラブ会長賞
奥野 光江「Tさん」

第88回新構造展
(9.18~24)
東京都美術館



彩美堂賞
栗原 豊「竜宮の泉」



11月16日 第3回子ども芸術祭開かれる

11月16日文化センターで子ども芸術祭が開催された。モダンダンス等のステージ発表、茶道体験のほかに、ロビーでは絵画、書・絵手紙の展示があった。会場は、未来の芸術家でいっぱいになった。



10月25日子ども芸術祭にむけての作品づくり(中央公民館)
たんぽぽの会の読み聞かせがあり、印象的なシーンを絵に現しました。



「まどうり」と「ボヨンボヨンだいおうのおはなし」の物語を色彩豊かに表現しました。

うござります !!

県芸術祭美術展覧会

(10.11~26日)

近代美術館

県民文化センター



(県展洋画部門)

奨励賞 吉田ミサヲ「秋」



木梨るみ子「まなざし」



神永マサ子「古代への旅」



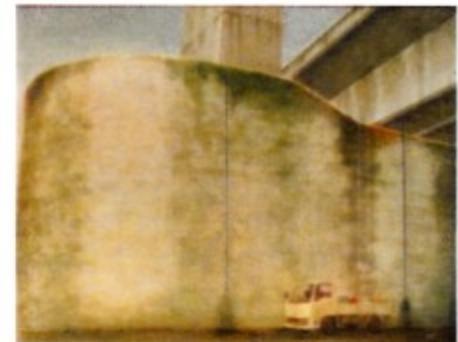
山本 啓子「穏やかな日々」



斎藤七恵「水といのち」



川崎 敏子「真っ直ぐに」



木村 隆「支える」



(県展工芸部門)

萩野谷 博「晨(あした)」



10月27日 塩原渓谷スケッチ終了!! みんなで記念撮影。

*Information*

原子力科学館美術連盟有志展
アートロードキックオフ
美術連盟研究会・新年会
アートロード展(協賛店展示)
アートロードギャラリー展
アートフラッグ小品展
コスチュームデッサン

11月25日~12月15日	原子力科学館 2F【美術連盟有志】
2015年1月24日	真崎コミセン【アートロード会員】
1月24日 正午から	真崎コミセン(西支部担当)
2月1日~4月30日	各店舗
2月8日~14日(絵画・彫刻・工芸・華道)	東海ステーションギャラリー
2月12日~2月17日	リコッティ【嶋内他 G】
2月15日	場所未定(東支部担当)